

# 美術館だより

## 本年度事業計画を紹介いたします

県立美術館は開館まで一ヶ月となりました。前号では開館までの経緯に触れましたが、今回は、美術館の事業計画について御紹介いたします。

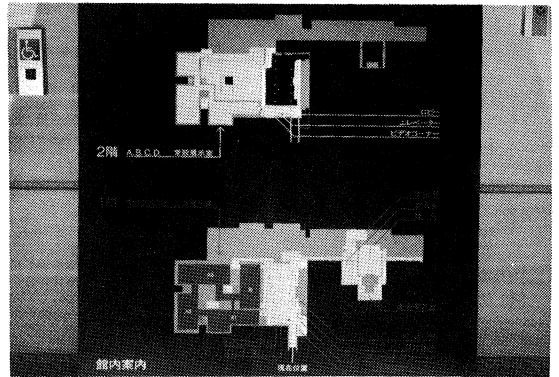
美術館の業務は多岐にわたりますが、次のように大別できます。

### 収集

基本方針に沿って計画的に作品及び資料を収集し、収蔵品の充実を図る。  
**保存**  
 収蔵品を整理し、必要に応じ修復するなど、良好な環境で安全に保存する。  
**展示**  
 常設展……収蔵品等をテーマに従って構成し、系統的に展示をする。

## 昭和59年度展覧会案内

展覧会名	予定期間	企画の概要
開館記念展第一部 「人間像にみる現代絵画の展覧」	昭和59年 七月五日(日) ~ 八月九日(日)	現代を代表する国内作家による「人」をテーマにした作品で、洋画・日本画を合わせて約一五〇点展示する。
開館記念展第二部 「ミロ回顧展」	九月一日(土) ~ 九月五日(日)	スペインの画家ジョアン・ミロの初期バルセロナ時代から晩年の南仏時代まで、油彩・水彩・版画・彫刻等約一八〇点の作品を展示する。
開館記念展第三部 「現代東北美術の状況展」	十月三日(土) ~ 十月六日(日)	東北各県出身及び在住の作家で現在顕著な活動を展開している作家約六〇名の平面・立体の作品を約一六〇点展示する。
(拡大常設展)	昭和59年 三月上旬 ~ 一月下旬	通常の常設展に加えて、企画展示室も活用して収蔵品を展示する。
「現代版画の展覧」 (仮称)	二月六日(土) ~ 三月七日(日)	我が国を代表する版画家約五〇名の作品を展示し、戦後から今日に至る版画の多様な展開を紹介する予定。



美術館内部 (案内板)

心を深めていただく。  
 以上五項目の中で「展示」と「教育普及」は、館を利用される皆様と直接かわり合う部分となります。  
 展示部門は、常設展示室(二階)と企画展示室(一階)で開催されます。常設展では、収蔵品を数多く鑑賞していただくために、年に数回の展示替えと展示点数を拡大する期間を設けることも計画しております。

企画展の予定は別表のとおりです。教育普及関係の施設や設備及び各種の事業計画等につきましては、次号で御紹介いたしますが、美術館の機能や活動の概要を御理解いただき、皆様がいこいの場として気軽に館の内外を活用していただきたいと思っております。

て構成し、系統的に展示をする。  
 企画展……収蔵品や借用作品等により、多様なテーマで構成し、年間を通して計画的に開催する。

### 調査研究

美術館諸活動の基盤として、作家、作品、展示、管理保存、運営、教育普及、材料、技法等の調査研究を行う。  
**教育普及**  
 美術の情報センターとして、幅広い地域及び県民各層に、種々の事業及び普及活動を通して美術の知識と関

## NHK教育TVで

### 県立美術館が放映!

放送日時 七月一日(日)  
 午前九時~十時  
 (再放送 同日午後八時~九時)  
 番組名 日曜美術館  
 「アメリカ」を描く  
 アンドリュウ・ワイエス  
 ~ 田園の憂愁 ~

## 福島県立美術館

主任学芸員 野中 定